

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

令和6年7月20日 第250号

目 次

令和6年度 臨時理事会 議事録(抄)	1
令和6年度 第65回 定時代議員総会 議事録(抄)	3
令和6年度 臨時理事会 議事録(抄)	8
令和6年度 第1回理事会 議事録(抄)	9
正味財産増減計算書	13
貸借対照表	15
監査報告書	16
令和6年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表	17
令和6年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構図	19
令和6年度 地方会執行委員長・支部長名簿	20
諸会議及び役員渉外行動報告	21
本部発信文書一覧	22
令和6年度 協会ホームページ更新履歴	24
課題講習会参加費用(受講料)の値上げについて	25
第73回 日本理学療法学会 開催案内	26
第73回 日本理学療法学会における演題募集のお願い	27
第61回 東北理学療法学会のご案内	29
第47回 理学療法指導者講習会 開催案内	29
令和6年度 支部・地方会学術活動開催予定一覧	30
「広報PDF版」配信にかかわる実態調査報告	31
認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内	32
協会主要会議及び地方学会等の年度計画表	33

令和6年度 臨時理事会 議事録（抄）

日時 令和6年5月2日(木) 20:00～20:30

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小路口 憲(広報局長・理療出版部長・学術局次長)

丹羽つとむ(組織局長)

三浦 政則(財務局長)

野山 隆司(情報管理局长・保険局次長)

坂原 博昭(組織局次長)

寒河江健一(特殊出版部長・広報局次長)

監事 中川 保

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

欠席者 大内田 義己(監事)

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、議案は平野会長が議長を務めること。また書記は小路口、録音、賛否の確認は野山が担当することが告げられ、議案の審議が行われた。

1. 議題

議題1) 令和5年度 事業報告

平野 令和5年度事業報告について審議願いたい。(広報249号P4～6参照)

小路口 これまで理療発行回数を年4回発行してきたが、経費節減目的で、本年度から年3回の発行に変更し、今後も理療出版を継続して行くよう努める。

坂原 理療は会員の研鑽に役立っているので年4回発行すべきである。

青柳 経費節減の目的と年3回は理解できるが、会員に対するサービスの

低下になることを理事全員が理解する必要がある。

平野 1回の理療出版に約100万円かかっている。

寒河江 1回減らして約100万円の節減で、協会の財政基盤は改善するのか。

平野 協会事業の縮小については、現在の会員数が950名、今後100名減少すると200万円の減収になる。収入が減る中で、これまでと同じ事業を続けて行くことは困難になる。

杉浦 令和5年度は500万円以上の赤字になっている。会員数の減少が続く中でこれまでと同じ事業規模の活動を継続した場合、3～4年で財政破たん陥る。

そのことを踏まえて今後の事業を検討すべきである。

小川 今後の財政を考えた場合、年3回の発行に変更することはやむを得ないことだと考えるが、その上で3回になった場合、中身の充実を図ってはどうか。

丹羽 財政を考えた場合、3回が妥当ではないか。

三浦 財務担当者の私としては、現状では3回に減らす方向で良いと思う。協会の収入が増えた時点で4回に戻すと良い。

平野 理療出版以外の事業で、経費節減の方策について意見を求める。

坂原 理療広告を増やすべきではないか。

小路口 今後の課題講習会の在り方について、会員数の少ない支部、地方会のみで実施するのではなく、オンラインやオンデマンドを取り入

れ、全国の会員を対象に課題講習会の開催を取り組むことが必要だ。研鑽の機会も増え、講習会収入も増え経費節減につながる。

(全会一致で承認)

議題2) 令和5年度 収支決算報告及び監査報告

三 浦 令和5年度の収支決算については報告書のとおりである。今後も例年とおりの事業を継続した場合、毎年500万ぐらいの赤字が見込まれる。

協会の定期預金として3,000万円があるが、令和6年度の初期費用として1,200万円を引き出している。残りの1,800万円で今後発生する単年度の赤字を埋めて行かなければならない。ようするに、これまでどおりの事業活動を続けた場合には、3～4年で協会の財務は破たんする状況にある。

(広報250号正味財産増減計算書P13参照)

中 川 4月28日協会事務所で監査を行い、事業報告及び職務の執行に関する法令違反、定款に違反する行為などはなかったことを確認した。令和5年度の決算で500万円の赤字が発生している。今後も資金不足が予想されるので、その点について理事会及び地方会、支部で十分に検討してほしい。監査の詳細については報告書のとおりで

ある。

(広報250号監査報告書P16参照)

野 山 事業支出の中で赤字を計上している活動は何なのか。

三 浦 全国から集まるとなると、旅費交通費の支出は大きくなる。

野 山 会議などもリモートに切り替えるべきではないか。

杉 浦 これまでどおりの事業活動をつづけた場合、単年度で約500万円資金不足の状態が続く。支出の超過部分は、支部地方会から発生しているのではなく、本部の事業活動費の中で500万円の赤字が発生している。これまでどおりの協会事業を継続し赤字を出さずに実施する場合には、会員数1200名規模の会費収入が必要となる。現状200名～300名の会員数が不足している状況の中で行っているので、毎年500万円位が資金不足になる状況である。

小路口 会員数が年間50名ずつ減少して行く中で、今後もこれまでどおりの事業を行っていった場合には、協会はあと何年継続できるのか。

杉 浦 このままだと後3～4年しか事業は継続できない。抜本的な方策として考えられるのは、本部事務所を売却し当面の資金を確保すること。

(全会一致で承認)

以上

第 65 回 定時代議員総会 議事録(抄)

1. 日 時 令和6年5月18日(土) 13:00~15:50
2. 場 所 日本教育会館 7階 (東京都)
3. 議 長 町井 修治 近畿地方会
書 記 石田 一利 東京都支部
熊谷まり子 東京都支部

4. 総会成立確認

町井議長から、定款 18 条により、代議員定数 14 名、出席代議員数 14 名で、第 65 回定時代議員総会の成立を宣言。オブザーバー 5 名の出席が報告された。

小川 副会長

昨年 12 月 2 日、本協会の第 6 代会長を務められた龍澤良忠先生が 88 歳の天寿を全うされました。本協会における多大な功績に感謝し、ご冥福をお祈りするため、黙祷を捧げます。

5. 挨拶 平野 会長

今年度の会員数は 950 名を割り、これまで行ってきた全国学会、指導者講習会、理療出版など、協会事業の見直しが必要となってきた。理事会をリモート開催で 120 万円、事務員の雇用をとり止めで 120 万円削減し、本部としても努力している。

第 65 回定時代議員総会では会員数減少に伴う今後の協会運営の方策について検討いただき建設的な意見をお願いしたい。

6. 議 題

第 1 号議案 令和 5 年度 事業報告
(広報 249 号事業報告 P4 参照)

近畿会(速水)

令和 6 年度の運動療法機能訓練技能講習会は、第 73 回日本理学療法学会開催準備と重複するため、今年度の技能講習会の開催を断念する。

また、技能講習会受講料が今年度より 10 万円から 20 万円に変更されるが、値上げの影響で最低開催人数 15 名の確保に影響がでるのではないかと危惧している。

関東甲信越会(井上)

令和 5 年度の組織拡充対策部会を 8 回実施しているが、検討内容について報告を求める。

丹羽 組織局長

現在、協会組織は 50 歳以上の会員が 60% 以上を占めている。近年は退会者が増加する傾向にあり、退会者は機能訓練指導員として介護分野で就労している状況も一部にある。部会では組織拡充の方策として、介護分野で就労している「あはき師、柔整師」などを対象に、機能訓練指導員向けの研修会を開催する必要があるのではないかと考え、転倒防止に即した機能訓練の有効性を紹介する内容の講習会を企画し実施した。機能訓練指導員に対し協会の学術活動をピーアールし協会へ勧誘した。今後もこのような講習会の開催案内を機能訓練指導員に周知し入会に繋げたい。

関東甲信越会(井上)

機能訓練指導員向けの研修会への取り組みは、看護師等の機能訓練指導員を勧誘する目的なのか。いづれにしても会員増に繋がる新たな方策が必要だ。

丹羽 組織局長

介護保険施設で就労している看護師、柔道整復師等と共に転倒防止などの技術向上に向けた勉強会を実施し、協会への入会に繋げていきたい。

青柳 事務局長

この部会の目的は、会員を増やす方策を検討し勧誘に繋がる活動を行うことです。具体的な取り組みとしては「あはき師」の養成校に対して協会の学術活動をピーアールし、学生の参加費を無料にして参加を促す、また、機能訓練指導員として介護施設で就労している看護師等を対象に、協会の学術活動を紹介し勧誘活動を行った。その第 1 回目として近畿地方会の協力で課題講習会を開催し会員外の参加者に繋がった。

関東甲信越会(井上)

今回の組織拡充の取り組みは一回で終わるのか。

丹羽 組織局長

組織局としては今後も続けて行きたい。組織拡充に繋がる意見を会員からも出してほしい。地方会支部の協力も必要だ。介護分野に関わる課題講習会の計画がある場合は、組織局も協力したいので連絡してほしい。

北海道会(渡邊)

全国的に会員数減少が進む中で協会組織を2つの地方会に集約し、事業は本部が担い1年でも長くこの会を維持してはどうか。また、法人を一般法人に変更することも検討すべきではないか。

平野 会長

学術団体として定款に基づいて活動し組織を存続させるよう努力する。

(第1号議案 全会一致で承認)

第2号議案 令和5年度 収支決算報告及び監査報告

三浦 財務局長

収支決算報告は正味財産増減計算書及び貸借対照表のとおりである。財務内容は、令和6年3月31日現在で預貯金額が約3,000万円となり、近年は毎年500万円の赤字が発生する状況にある。数年で協会の資金はなくなる恐れがあるので代議員会で十分な検討をお願いしたい。

(正味財産増減計算書 P13 参照)

(貸借対照表 P15 参照)

中川 監事

令和5年度の監査は、4月28日協会事務所に出向いて実施した。監査結果は報告書のとおりである。監査では通帳、支払伝票、領収書について確認を行った。その結果、定款に違反する事例は見られなかった。また、三浦財務局長より協会財務が、このままの事業を継続した場合、単年度で毎年500万円の赤字が発生する状況について報告を受けた。代議員会、理事会、各地方会、支部において今後の協会在り方について真

剣な討議をお願いしたい。

(監査報告書 P 16 参照)

町井 議長

単年度で毎年500万円の赤字が発生する理由について、どこの部分が赤字なのか説明を求める。

三浦 財務局長

地方会、支部における事業収支については、ほとんど赤字の発生は無く、本部事業にかかわる部分で発生している。全国学会、地方学会、指導者講習会、理療、広報などの事業から発生している。

町井 議長

今後の協会本部事業の運営に当たっては支出を抑えるのか、収入を増やすのか、どちらの方針を考えているのか。

三浦 財務局長

年会費の値上げは考えていない。課題講習会や技能講習会の参加費の値上げを検討している。

平野 会長

今年度より理療発行を年4回から3回に減らし約100万円を減額する。今後は全国学会の会期を1日学会にすること、指導者講習会の在り方についても経費削減の方向に見直すことなどを理事会で検討する。

関東甲信越会(井上)

全国学会は72回学会のように1日学会にし、早急に学会規程の見直しを行い、来年度の73回学会より適用させるべきではないか。広報なども紙媒体から電子媒体に変更し印刷費、郵送費の削減を図るべきではないか。

小路口 広報局長、理療出版部長

経費節減として理療の発行を1回取り止め、5月、11月、2月の3回の発行にします。学術団体として会員の研鑽に影響することであり、発行を減らすことは本意ではないが、そのようになります。

また、理療、広報の発行业務費の削減としては、紙からPDFの電子媒体に切り替えてインターネットを活用する方法がありますが、この点についてそれぞれの会員によって条件が違うと思いますので、各代議

員からその点について意見を伺いたい。

三浦 財務局長

来年度の73回学会に関しては2日間の会期の計画書が提出されているので、規程を見直しても来年度からの適用にはならないので理解していただきたい。

関東甲信越会(井上)

再来年度からの適用は可能か。

平野 会長

再来年度の74回学会から会期を1日に変更する。

町井 議長

全国学会規程の変更を行ってください。

北海道会(渡邊)

広報の郵送を取りやめてPDFファイルの送信に変えても良いと思う。

東北会(菊池)

経費節減の観点からは、広報の郵送を止めることは良い方法と思うが、ネット環境がない会員に対してどのように対処するかが課題になる。

中部会(鈴木)

協会の収支のバランスをとる上でも、PDFなどの電子媒体の活用に変えるべきである。会員も紙媒体にこだわるのではなく、デジタル社会の一員としてできないことについて学んだほうが良い。地方会、支部で行う課題講習会や研修会についてもインターネットを活用して、全国の会員が受講できるようにした方が参加者収入も増え、開催経費の削減にも繋がり、参加者の交通費の負担もなくなる。

学術団体として、会員の受講回数を増やすリモート開催の取り組みを検討し、そのことによって収入増に繋げて行けば良いのではないか。

関東甲信越会(神林)

広報に関してはPDFファイルが良いと思うが、デジタルに対応できない会員に対しては紙媒体での活用が部分的に必要なのではないか。

関東甲信越会(井上)

視覚障がい者向けには特殊出版物として広報のCD版を活用している。ネット環境

もなくパソコンを使用しない会員の場合には検討が必要になるが、パソコンを使用する視覚障がい者であればテキストファイルを活用する方法もある。

関東甲信越会(引橋)

広報を電子媒体に変え会員に送信することは賛成だ。紙の広報が必要な会員には支部で印刷する対応が良いのではないか。

ネット配信で問題なのは会員が既読したか確認しづらい点だ。既読が確認できるラインアットのアプリの活用などを検討してはどうか。

関東甲信越会(梅田)

神奈川県支部会員も支部長担当した時と比べ半分に会員数が減少している。そのような中でも支部広報などを視覚障がい者へ点字版を作成して情報を伝えている。経費節減で理療発行回数を減らすようだが、会員への情報伝達の手段として広報は必要なので減らさない方が良い。

近畿会(速水)

広報をPDFファイルで見た場合は拡大ができ、視覚障がい者にとって良い面もあるが、紙の広報を手にとって読む良さもあると思う。

四国会(藤堂)

広報、理療のデジタル化については、財政削減の意味もあり賛成する。紙の広報でなければならぬ会員もいて支部、地方会で紙の広報が必要になる。

九州会(石本)

各地方会と支部の連絡にはメールを使っているので、広報のPDFファイルを会員に送ることは各支部で対応できると思う。

町井 議長

紙の広報を止めて協会ホームページから会員が広報を閲覧することになると、確実に見てもらうためには定期的に掲載して、そのことを周知する必要があるのではないか。

小路口 広報局長、理療出版部長

各地方会の代議員の意見を伺うと、総じて紙媒体から電子媒体へ切り替えることに

については賛成いただけると、感想を持ちました。広報のPDFファイルをどのように活用するかなどの方法について検討していく。今後、地方会、支部に協力をお願いすることになると思う。

(第2号議案 全会一致で承認)

第3号議案 表彰に関する承認

青柳 事務局長

以下の表彰者を提案する。

- 1) 学会長・準備委員長表彰
第71回 日本理学療法学会
学 会 長 猿橋 寛弥 氏
準備委員長 神林 幸生 氏
 - 2) 特別感謝状 広島県支部
前川 良男 氏
 - 3) 栄誉賞 該当者無し
 - 4) 学術奨励賞 該当者無し
 - 5) 組織拡大貢献支部表彰 該当支部無し
- (第3号議案 全会一致で承認)

第4号議案 第73回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認

青柳 事務局長

学会長、準備委員長を以下のとおり提案する。

- 学 会 長 町井 修治 氏(大阪府支部)
準備委員長 吉岡 豊英 氏(兵庫県支部)
- (第4号議案 全会一致で承認)

第5号議案 第74回 日本理学療法学会 開催地の決定

青柳 事務局長

学会開催地を以下のとおり提案する。

東北地方会 岩手県支部

(第5号議案 全会一致で承認)

第6号議案 役員定数の変更に係る定款変更 平野 会長

会員数の減少に伴い、役員定数を削減し、法人運營業務の効率化、経費節減を目的に理事定数を2名減員し、5名以上7名以内に変更することを提案する。

(広報249号定款変更案P8参照)

関東甲信越会(井上)

役員を減らすことで2年後の役員への負担が増すのではないか。

東北会(菊池)

現状より役員定数を減らすことになると、役員一人の負担が更に増す状況になる。2年後の役員体制で業務遂行に支障は出ないのか。

平野 会長

そのことは十分に考慮して役員定数の削減を提案している。

町井 議長

過去15名の理事で協会運営を行っていた時と同様の事業を現在9名の理事で行っていて、理事の仕事量は増えているのではないか。会員数の減少による経費削減を理由に提案されているが、現在は理事会等もリモート会議であり、経費はかかっているのではないか。更に2名を削減する根拠が他にあるのであれば教えてほしい。

平野 会長

会員数の減少は一因であるが、会員数の減少に伴い代議員数も減少することになる。総会に出席する代議員数に対する本部役員数の均衡を考慮して提案している。

関東甲信越会(引橋)

役員を減らした状態でも、この先5年、10年後の協会の存続は大丈夫だと確約していただければ安心できる。

平野 会長

会員数の減少による会費収入の減少に伴い、これまでの事業を見直すことが必要になる。学会の会期を1日に、広報をPDFに、理療出版を3回にするなど業務の見直しを行って、理事定数が減ったとしてもできるのではないか。5年、10年後の先の話については、私は理事をやめているので、その時の役員で考えていただきたい。

(第6号議案 賛成12名、反対2名で承認)

第7号議案 役員改選

(広報249号役員改選P33参照)

武智役員改選管理委員長より投票について説明があり、理事及び監事の改選が行われた。

引き続き杉浦、佐藤の両部長の立会いのもと厳正に開票を行い、武智委員長より信任の結果が報告された。

投票結果(投票総数 14 票 有効投票数 14 票)

理事選任者(五十音順)

青柳 利之 小川 嗣人 坂原 博明
寒河江 健一 小路口 憲 丹羽 つとむ
野山 隆司 平野 五十男 三浦 政則

監事選任者(五十音順)

大内田 義己 中川 保

開票報告後、中川監事が議長となり、令和6年度臨時理事会が開催され、定款第22条3項により会長選出に入り、平野会長が再選され、平野会長より副会長に小川、青柳の両理事を任命し、丹羽、小路口の両理事を含めた4名が業務執行理事として選任された。相談役は空席となる。

(令和6年度臨時理事会議事録(抄) P8参照)

挨拶 平野 会長

私は、4年後に役員を引退します。今後の協会を背負う方は2年後の役員改選で立候補し表明していただきたい。私は、協会の存続を心から願っておりますので、後継者が名乗り出てくることをお願いし挨拶いたします。

(第7号議案 全会一致で承認)

7. 報告事項

町井 議長

令和6年度の基本姿勢及び事業計画並びに令和6年度予算について意見を受けます。

小川 学術局長

第47回理学療法指導者講習会を令和6年10月19日(土)～20日(日)大分県大分市で開催します。受講者の締め切りは令和6年8月31日までとします。講習会の

詳細については開催案内を参照願う。

(理学療法指導者講習会開催案内 P29 参照)

今年度の運動療法機能訓練技能講習会は神奈川県支部で開催し、対面式で開講します。

期間は令和6年7月13日より翌年1月12日までの19日間を予定している。詳細は協会ホームページの講習会開催案内を参照願う。

九州会(石本)

九州の4支部から4名の支部長が受講を予定しているが、鹿児島県支部から支部長の他に1名の受講希望者がいる。指導者講習会へ参加することは可能か。

小川 学術局長

受講者の上限は35名であり、全体のバランスを考慮して考える。受講者は必ず伝達講習を行うことが受講の条件になっている。そのことを踏まえて参加するように。

東北会(菊池)

今回の代議員総会は会員数の減少に伴う財政状況の見直しについて、意見交換ができたと感じている。今後の事業削減の必要性は理解できるが、協会として維持すべき事業には、それに見合う役員体制を維持して行ってほしい。広報のPDFについては有意義だと思うが、会員に広報が届かないようなことが無いようお願いしたい。

北海道(渡邊)

今後、地方会、支部への交付金について減額する可能性はあるのか。

三浦 財務局長

現在は、交付金の減額は考えていないが、地方会の会員数減少状況によっては、何か検討しなければならないことになるかと思う。

他、代議員から質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

令和6年度 臨時理事会 議事録(抄)

日時 令和6年5月18日(土) 15:00~15:15
場所 日本教育会館 7階会議室
出席者 理事 平野五十男・小川 嗣人
青柳 利之・丹羽つとむ
小路口 憲・三浦 政則
野山 隆司・坂原 博昭
監事 中川 保
欠席者 寒河江 健一(理事)
大内田 義己(監事)

中川保(監事)が仮議長となり、定款第22条(役員を選任)、第32条(理事会の権限)の定めに従い、代表理事(会長)の選定を行う。

議 題

1. 代表理事(会長)の選任
三浦理事より代表理事に平野五十男理事

が推薦され、その場で全理事からの承諾を受け、代表理事に平野五十男氏が選任され、平野五十男代表理事が会長に就任した。

2. 副会長並びに業務執行理事の選任

平野五十男代表理事が議長となり、定款に従い、小川嗣人理事、青柳利之理事を副会長に選任し、丹羽つとむ理事、小路口憲理事と会長含めた5名を業務執行理事とする。

3. 業務管理部長の選任

公益法人管理部長に杉浦幹雄、クラウドシステム管理部長に佐藤功を再任する。

以上

令和6年度 第1回理事会 議事録(抄)

日 時 令和6年6月2日(日) 11:00~13:00

場 所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理 事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小路口 憲(広報局長・理療編集出版部長)

丹羽つとむ(組織局長)

三浦 政則(財務局長)

野山 隆司(情報管理局長)

寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

坂原 博昭(学術局次長)

監 事 中川 保・大内田 義己

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて報告事項は青柳副会長が司会進行を、議案は平野会長が議長を務めること。また、録音は野山、書記は小路口が担当することが告げられ、事業及び各部署の報告と議案の審議が行われた。

1. 報告事項

報告1) 諸会議及び役員渉外行動報告

平 野 諸会議並びに役員渉外行動については、報告書のとおりである。

(諸会議及び渉外行動報告書 P21 参照)

報告2) 本部発信文書一覧

平 野 本部発信文書については、報告書のとおりである。

(本部発信文書報告書 P22 参照)

報告3) 協会ホームページの更新履歴一覧

野 山 協会ホームページの更新履歴は一覧表のとおりである。

(協会ホームページの更新履歴 P24 参照)

報告4) 会員数(会友・休会・名誉会員含む)について

丹 羽 令和6年5月2日現在、正会員

932名、会友5名、休会5名、名誉会員4名、合計946名である。地方会の会員数は北海道37名、東北56名、関東甲信越388名、中部149名、北陸33名、近畿175名、中国28名、四国36名、九州44名となっている。

青 柳 休会届は年度ごとの更新申請が定款細則で示されているが、更新申請は出ているのか。

平 野 当該支部からの更新申請は出されていない。

丹 羽 今後、休会届は毎年、理事会において報告し更新する。

報告5) 第72回 日本理学療法学会(仮)終了報告について

小路口 地方会、支部の協力により72回学会は予定どおりに無事終了した。参加者は約200名であった。

杉 浦 学会費用は協会より300万円が学会助成金として支給されているが、参加費収入が約160万円、事業経費が350万円位になるので、剰余金は110万円位を見込んでいる。最終的な報告は12月の広報で報告する。

青 柳 学会会場内での撮影や服装などの注意事項は守られていたか。

野 山 特定の会員が机上でカメラ撮影しており、準備委員長が注意しても従わなかった。

青 柳 過去の学会で撮影したデータを他者に提供している会員がいたと聞いている。

丹 羽 撮影したデータは没収すべきではないか。

杉 浦 個人を特定できているので平野会長より厳しく注意し、データは破棄するよう伝えてもらいたい。次回同じことを認めたときは退場とすべきである。

小路口 今回、リミテックで録画した動画をオンデマンド配信で学術活動として活用してはどうか。

野山 今回取り組んだ一日学会のノウハウを全国に発信してはどうか。

報告6) 支部・地方会への交付金支給のために解約した定期預金の積立て実施について

三浦 4月3日に交付金支給のため1,200万円を定期預金から解約している。

平野 近日中に600万～700万を定期に戻す予定である。

報告7) 役員職務分掌と組織機構図について

平野 令和6年度の新役員の職務担当については、役割分担表及び組織機構図に示したとおりである。

(役割分担表 P17 参照)

(組織機構図 P19 参照)

報告8) 令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会について

小川 神奈川県支部において実施予定、開催要項を協会ホームページに掲載した。

今年度より受講料を改定している。入会者は20万円、未加入者(非会員)は35万円となっている。

(広報249号 P21 参照)

報告9) 令和6年度 理学療法指導者講習会について

小川 10月19日(土)20日(日)の2日間大分市で開講する。受講者の締め切りは8月31日までとなっている。

小路口 理学療法指導者講習会の講義内容を翌年度の理療に原稿を掲載することを考えている。講師にお願いしてほしい。

小川 講師に相談し検討する。

(第47回理学療法指導者講習会開催案内P29参照)

報告10) 令和6年度 会費のJCB引落しの

結果について

三浦 5月15日JCBより466名分の引き落としを確認している。

報告11) 理療・広報の発行状況について

小路口 8月発行の理療を休刊とし、年3回の発行に変更する。経費節減を前提に執筆料のかからない原稿を集め内容の充実を図っていく。今年度の東北地方学会の特別講演の掲載もお願いする予定。次回の理療発行は11月の72回学会特集号を予定している。広報発行についてはPDFファイルによる電子化を検討している。

報告12) 組織拡充対策について

丹羽 組織拡充については、①技能認定登録者の医療保険制度上の位置付けについて厚生労働省、臨床整形外科会や他団体などがどのように思っているのか聞いてみたい。介護保険制度上の位置付けについても同様に確認が必要と考える。

②介護職員向け講習会を検討し、全国デイサービス協会等に勉強会の開催を発信して参加してもらうよう周知する。

③運動器セラピスト研修会の資格者への呼びかけや日本運動器科学会との連携を模索し検討する必要があると考える。

野山 今後の組織拡充対策会議は継続して行くのか。

丹羽 今年度の組織拡充対策会議の開催は会長に相談して決める。

小路口 通所介護、通所リハで従事している機能訓練指導員を協会に勧誘する取り組みを継続して行くことが必要と思う。

2. 議題

議題1) 令和6年度 事業計画の実施と問題点について

青柳 事務局では、各種文書の伝達を郵

- 送からメール送信に置き換える。地方会、支部等で開催する会議についてもリモート会議に切り替えるよう指導して行く。本部事務所に outward の作業を減らし本部役員交通費の節減に取り組む。保険局としては、経費の掛かる活動は行ってない。活動はこれまでどおりである。
- 丹羽 組織局では、本部事務所に outward の作業があるので交通費は掛かる。組織拡充会議の活動で経費が掛かることも出てくる。
- 小川 学術局では、地方学会交付金や指導者講習会の予算を節減する方向で検討する。全国学会の交付金についても圧縮する方向で取り組む。
- 小路口 理療出版部の予算は400万円計上されているが、発行回数を1回休刊することで節減できると考えている。広報事業費の節減では、紙媒体による広報から電子媒体に置き換えることで、将来的には経費節減が可能と考えている。
- 三浦 財務局では、決算ファイルや督促状の送付には郵送代が必要となる。
- 野山 財務クラウドや協会ホームページなどの経費は固定費であり、業務委託料の節減は難しい。
- 寒河江 理療、広報の特殊出版物について活動して行く。
- 坂原 学術局次長として、会員発表など全国学会等の演題募集に取り組む。
- 平野 各部局からの取り組みに対して意見を求める。
- 小路口 学会開催規程を見直し、学会交付金などの予算を今後は抑えた形で規程に示してはどうか。
- 平野 現在の規程では学会会期は2日間になっている。学会交付金もこれまでの400万円を近畿で計上しているが、近畿会には現状を踏まえて経費節減をお願いする。
- 杉浦 現在の規程にある「会期2日間」を、「5月に開催する」に見直す方向で学術局と検討している。
- 小路口 学会開催規程に講師料を明記する、抄録集などの印刷物を大圏社一社に限定するなどを細則に示し経費の節減に繋げてはどうか。
- 杉浦 学会経費の節減には務めるが、詳細に規程化しない方が良い。
- 野山 基本的には開催担当する地方会、支部の考えを尊重して取り組む方が良いと思う。
- 青柳 東北地方会担当の74回学会の交付金はどのようになるのか。
- 小川 学会交付金について財務局と協議している。1日学会になるので300万以内を目安に考えている。
(全会一致で承認)
- 議題2) 課題講習会受講料値上げの件(規程変更案)
- 小川 現行の会員2,000円を3,000円以上に、会員外4,000円以内を5,000円以上に変更することを提案する。
- 杉浦 会員の参加費は3,000円に固定し全国同額にした方が良い。会員外は6,000円以内で会員の倍額程度を上限にすべきである。会員外については会員の2倍以内にする事を内閣府から指導されている。
- 坂原 会員と差をつける意味で5,000円以上～6,000円以内にすべきである。
- 野山 課題講習会受講料は開催する地方会の裁量に任せてはどうか。
- 青柳 今回の値上げする理由を再確認したい。
- 小路口 協会の事業費収入を増やすことが目的。3月の理事会で討議している。
- 小川 提案を修正し、課題講習会受講料を会員3,000円、会員外が5,000円以上～6,000円以内に変更する。資料代については講習会開催要項の規程とおり地方会、支部の判断で必要とあれば別途請求は可能である。

- 中 川 近畿地方会での参加費は、単位取得者が2,000円、単位を取得しない人は1,000円にしているの、このような場合はどのようにすべきか。
- 小 川 単位の取得の有無によって会員の受講料に差をつけることは想定していない。受講する会員は単位の取得の有無に関係なく、参加費は同額を前提に規定している。
- 杉 浦 東京支部では、単位取得者は2,000円、単位を取得しない会員は参加費を無料で講習会を行ってきている。年会費23,000円に研修会、講習会の参加費が含まれていると解釈して行っている。
- 野 山 課題講習会の受講料は全国統一と理解している。支部や地方会の裁量で決めるのは良くない。受講料の基準を明確にすべきだ。
- 平 野 課題講習会受講料は会員3,000円、会員外が5,000円以上～6,000円以内で採決する。
(賛成5、反対4で可決承認)
- 議題3) 三重県支部と愛知県支部の統合について(定款細則変更案)
- 小 川 三重県支部の会員減少により支部活動が困難となり、愛知県支部と統合したい申し出があった。愛知、岐阜、三重で協議した結果、三重県支部を愛知県支部に統合する。
(全会一致で承認)
- 議題4) その他
- 平 野 支部規程など定款細則の変更以外にも、運動療法機能訓練技能講習会規程・技能認定登録制度規程・講習会等開催要項・日本理学療法学会規程等についても変更の必要があり近日中に対応したい。
- 小路口 理療出版部では過去の理療PDFファイルを協会のパソコンフォルダに保存し集積することにする。
- 青 柳 会長の挨拶で「自身の年齢を考え2期4年後には完全に引退する」と話されたが、協会の将来のことを見据え、事務所の売却や協会の解散などに向けた具体的な考えはあるのか。
- 平 野 4年後に協会を解散するということは考えていない。私の後継者が考えることであり、事務所の売却も「例えば」の範囲で話したことはあるが、具体的な考えはない。4年後には80歳になる。責任ある協会活動を続ける自信はないので、今後のことは皆さんで考え準備に入っていただきたい。
- 小路口 4年後の会長の後継者には、会長を永年支えてきた副会長が後継者に就任すると考えてよろしいか。
- 平 野 当然ですね。
- 青 柳 今の段階から課題を整理して計画的に取り組むのであれば、一生懸命手伝うが、会長にその考えがないのであれば、理事の責任を果たせないの、次回の役員改選には立候補しない。
- 小 川 職務として、会長を支え協会事業を進めていくことに尽きます。
- 理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	3,461	3,513	△ 52
② 受取入金	108,000	105,000	3,000
③ 受取会費 正会員受取会費	21,444,000	23,883,000	△ 2,439,000
④ 事業収益			
学会事業収益	1,894,000	2,889,560	△ 995,560
講習会事業収益	8,126,500	6,552,000	1,574,500
技能認定登録事業収益	1,540,440	1,425,000	115,440
⑤ 受取補助	0	0	0
⑥ 受取寄付金	329,335	0	329,335
⑦ 雑収益			
広告料収益	20,000	340,000	△ 320,000
雑収益	876,639	57,443	819,196
経常収益計	34,342,375	35,255,516	△ 913,141
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	0	0	0
福利厚生費	0	46,847	△ 46,847
旅費交通費	8,278,723	6,811,109	1,467,614
通信運搬費	1,971,122	2,197,060	△ 225,938
減価償却費	1,723,595	211,095	1,512,500
消耗品費	2,241,092	1,567,741	673,351
修繕費	0	0	0
印刷製本費	9,079,334	6,471,607	2,607,727
光熱水料費	129,930	158,401	△ 28,471
賃貸借料	2,885,593	1,446,970	1,438,623
保険料	0	0	0
諸謝金	5,724,112	4,653,511	1,070,601
租税公課	68,775	66,075	2,700
支払負担金	0	0	0
雑事業費	1,133,199	904,147	229,052
事業費計	34,135,475	25,434,563	8,700,912

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
役 員 報 酬	300,000	300,000	0
給 料 手 当	0	0	0
福 利 厚 生 費	0	15,616	△ 15,616
会 議 費	0	0	0
旅 費 交 通 費	2,759,574	2,270,369	489,205
通 信 運 搬 費	657,040	732,353	△ 75,313
消 耗 品 費	747,030	522,580	224,450
修 繕 費	0	0	0
印 刷 製 本 料 費	1,706,569	728,689	977,880
光 熱 水 借 料 費	43,310	52,800	△ 9,490
賃 借 料	1,031,607	926,262	105,345
保 險 料	0	0	0
諸 謝 金	55,685	0	55,685
租 税 公 課	22,925	22,025	900
支 払 負 担 金	0	0	0
雑 費	4,252,271	4,020,752	231,519
減 価 償 却 費	574,530	70,364	504,166
管 理 費 計	12,150,541	9,661,810	2,488,731
經 常 費 用 計	46,286,016	35,096,373	11,189,643
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,943,641	159,143	△ 12,102,784
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,943,641	159,143	△ 12,102,784
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,943,641	159,143	△ 12,102,784
一般正味財産期首残高	71,202,023	71,042,880	159,143
一般正味財産期末残高	59,258,382	71,202,023	△ 11,943,641
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
1 増加の部			
受 取 利 息	157	74	83
2 減少の部			
一般正味財産への振替額	329,335	0	329,335
当期指定正味財産増減額	-329,178	74	-329,252
指定正味財産期首残高	1,830,172	1,830,098	74
指定正味財産期末残高	1,500,994	1,830,172	△ 329,178
Ⅲ 正味財産期末残高	60,759,376	73,032,195	△ 12,272,819

貸借対照表

令和6年3月31日現在

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	3,906,998	4,623,552	△ 716,554
未収会費	2,200,000	2,860,000	△ 660,000
前払全国学会事業費	0	520,289	△ 520,289
前渡金	0	0	0
流動資産合計	6,106,998	8,003,841	△ 1,896,843
2 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	1,500,994	1,830,172	△ 329,178
記念学会基金	471,794	2,370,548	△ 1,898,754
財務クラウドリニューアル基金	0	4,200,000	△ 4,200,000
公益事業基金	30,041,762	37,042,889	△ 7,001,127
特定資産合計	32,014,550	45,443,609	△ 13,429,059
(2) 有形固定資産			
建物	3,946,712	4,228,171	△ 281,459
什器備品	1	1	0
土地	11,063,334	11,063,334	0
有形固定資産計	15,010,047	15,291,506	△ 281,459
(3) 無形固定資産			
ソフトウェア	8,983,334	0	8,983,334
ソフトウェア仮勘定	0	5,500,000	△ 5,500,000
無形固定資産計	8,983,334	5,500,000	3,483,334
その他の固定資産合計	23,993,381	20,791,506	3,201,875
固定資産合計	56,007,931	66,235,115	△ 10,227,184
資 産 合 計	62,114,929	74,238,956	△ 12,124,027
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	1,084,553	858,761	225,792
前受会費	271,000	348,000	△ 77,000
流動負債合計	1,355,553	1,206,761	148,792
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,355,553	1,206,761	148,792
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	1,500,994	1,830,172	△ 329,178
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	32,670,790	45,443,609	△ 12,772,819
正味財産合計	60,759,376	73,032,195	△ 12,272,819
負債及び正味財産合計	62,114,929	74,238,956	△ 12,124,027

監査報告書

会長 平野 五十男 殿

令和6年4月28日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

監事 中川 保



監事 大内田 義己



私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について、協会事務所で調査を実施しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

- (3) 今年度は約500万の赤字決算だった。会員の減少などにより今後もこの状況は継続するものと危惧している。本会の運営及び進路について慎重かつ具体的な対応策が必要と考える。関連諸会議での討議を求める。

以上

令和6年度 役員職務分掌及び情報収集等に係る役割分担表

会 長 平野 五十男

厚労省・医師会関係全般・東洋療法研修試験財団(評議員・生涯研修検討委員)・あはき等法推進協議会・葵税理士法人・ニュー大崎管理組合理事・杉山検校遺徳顕彰会評議員・広報編集委員

副 会 長 青柳 利之 事務局長・保険局長

諸会議の企画及び開催準備・診療報酬、介護報酬に係る情報収集・東洋療法研修試験財団(生涯研修作業部会委員)・広報編集委員

副 会 長 小川 嗣人 学術局長

日本理学療法学会・理療の企画編集・技能認定登録制度委員長・理学療法指導者講習会・運動療法機能訓練技能講習会実行委員長・東洋療法将来研究会(あはき7団体)

理 事 小路口 憲 広報局長・理療編集出版部長

理療・広報の企画編集・理療、広報のCD、デイジー利用者管理・諸会議の書記

理 事 丹羽 つとむ 組織局長

会員管理・役員名簿の作成・会員実態調査・組織拡充対策

理 事 三浦 政則 財務局長

財務処理関連業務・葵税理士法人との財務処理

理 事 野山 隆司 情報管理局长

協会HP・クラウドの運用管理(委託業者との連絡調整)・協会内会議のオンライン設定

理 事 寒河江 健一 広報局次長・特殊出版部長

理療・広報のCD、デイジー利用者管理・障害者団体関連情報全般

理 事 坂原 博昭 学術局次長

日本理学療法学会・地方学会・研修会・理学療法指導者講習会等の運用管理

監 事 中川 保 大内田 義己

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

名誉会員 丸山 福治 三宅 健一郎 倉石 健二 柳澤 貞男

委員会

広報編集委員会

青柳 利之 平野 五十男

表彰選考委員会 叙勲・褒章、及び記念事業等に係る表彰全般

委員長 柳澤 貞男

委員 倉石 健二 平野 五十男

運動療法機能訓練技能講習会実行委員会

委員長 小川 嗣人

委員 平野 五十男 青柳 利之 三浦 政則 柳澤 貞男

技能認定登録制度委員会

委員長 小川 嗣人

委員 平野 五十男 青柳 利之 小路口 憲 柳澤 貞男

役員改選管理委員会

委員長 武智 健二

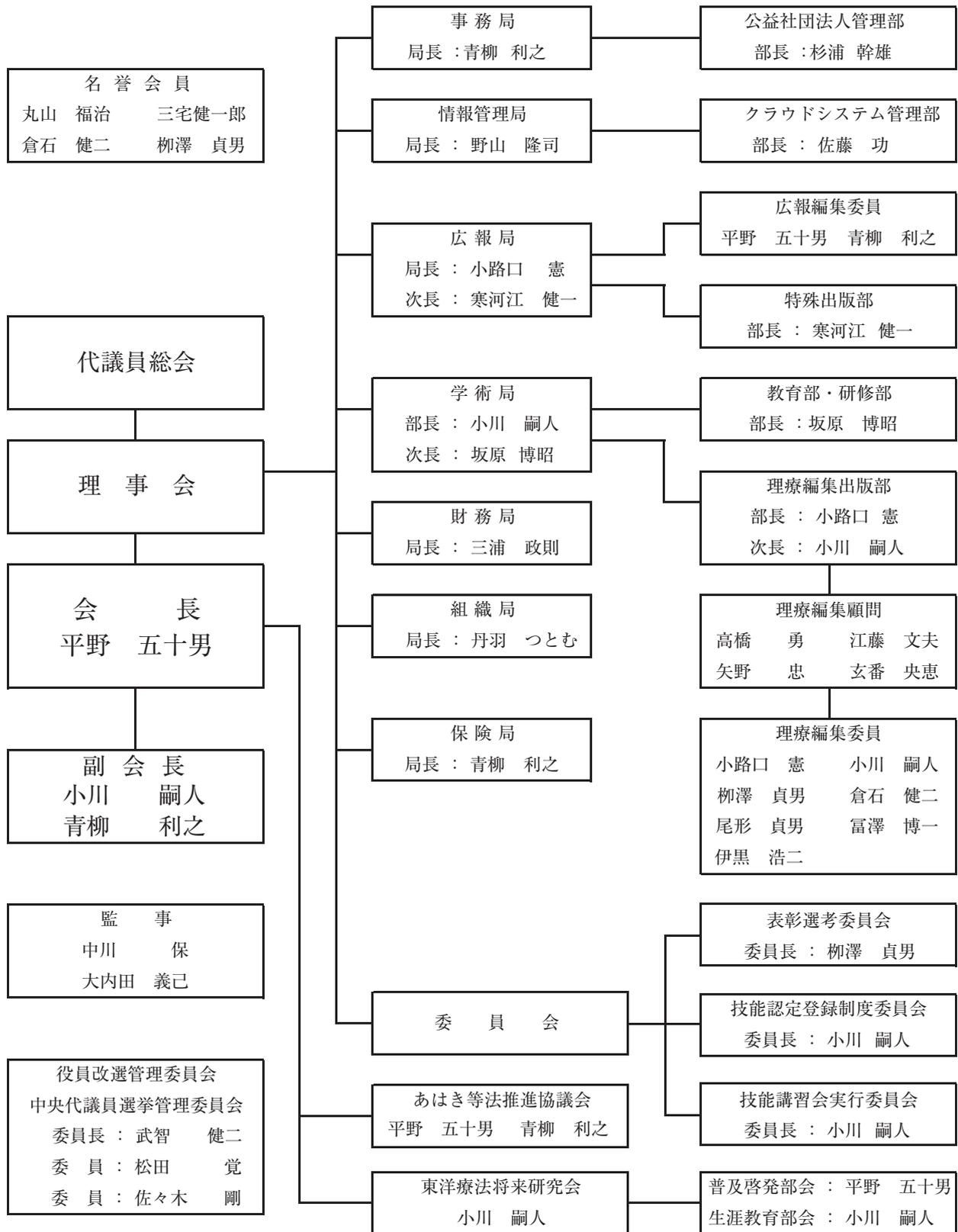
委員 佐々木 剛 松田 覚

中央代議員選挙管理委員会

委員長 武智 健二

委員 佐々木 剛 松田 覚

令和6年度 公益社団法人 全国病院理学療法協会 組織機構図



地方会 執行委員長

北海道：工藤 英範	東北：菊池 武彦	関東甲信越：杉浦 幹雄
中部：渡曾 洋一	北陸：向井 由美子	近畿：町井 修治
中国：川口 清宣	四国：石川 啓一	九州：石本 必勝

令和6年度 地方会執行委員長・支部長名簿

地方会名	氏名	役職名	郵便番号	住所
北海道	工藤英範	執行委員長	041-0811	北海道函館市富岡町3-22-6 シャトゥーム美原南606号室
東北	菊池武彦	執行委員長	023-0808	岩手県奥州市水沢字日高小路24番地3 カーサシラウメC棟202号室
関東甲信越	杉浦幹雄	執行委員長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
北陸	向井由美子	執行委員長	920-0965	石川県金沢市笠舞2-35-10
中部	渡曾洋一	執行委員長	509-7201	岐阜県恵那市大井町2205-21 アネックス19-1-A
近畿	町井修治	執行委員長	575-0032	大阪府四條畷市米崎町9-1
中国	川口清宣	執行委員長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
四国	石川啓一	執行委員長	791-8036	愛媛県松山市高岡町508-8
九州	石本必勝	執行委員長	851-0121	長崎県長崎市宿町498

支部名	氏名	役職名	郵便番号	住所(自宅)
北海道	工藤英範	支部長	041-0811	北海道函館市富岡町3-22-6 シャトゥーム美原南606号
青森	川浪重治	支部長	037-0016	青森県五所川原市一ツ谷523-17
岩手・秋田	菊池武彦	支部長	023-0808	岩手県奥州市水沢字日高小路24番地3 カーサシラウメC棟202号室
宮城	菅原喜弘	支部長	994-0056	宮城県仙台市若林区成田町61-1 佐松マンション207号
山形	寒河江健一	支部長	992-0025	山形県米沢市通町8-2-12-1
福島	星辰雄	支部長	966-0016	福島県喜多方市関柴町平林字関田316-7
茨城	神林幸生	支部長	270-1147	千葉県我孫子市若松131-14
栃木	引橋三佐夫	支部長	329-0204	栃木県小山市東黒田218-11
埼玉	横川安則	支部長	357-0052	埼玉県飯能市下畑206
千葉	井上聡	支部長	260-0822	千葉県千葉市中央区蘇我町1-5-17 グリーンコーポ蘇我505
東京	杉浦幹雄	支部長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
神奈川	梅田弘之	支部長	259-1145	神奈川県伊勢原市板戸311
新潟	藤原文男	支部長	959-0321	新潟県西蒲原郡弥彦村大字上泉1793-4
長野	等々力正和	支部長	399-8201	長野県安曇野市豊科南穂高5247-4
富山	林茂久	支部長	930-0138	富山県富山市呉羽町4244-35
石川	向井由美子	支部長	920-0965	石川県金沢市笠舞2-35-10
福井	長谷川義勝	支部長	910-0003	福井県福井市松本3-26-3 ロアール西別院502
静岡	大河原功	支部長	417-0001	静岡県富士市今泉3290-8
岐阜	栗山英	支部長	501-0225	岐阜県瑞穂市祖父江12-1
愛知・三重	鈴木茂	支部長	489-0805	愛知県瀬戸市陶原町6-10-2 リバーサイドマンション604
京都・滋賀	奥村栄浩	支部長	606-0003	京都府京都市左京区岩倉南大鷲町18
大阪	田中保行	支部長	581-0084	大阪府八尾市植松町5-16-20
兵庫	吉岡豊英	支部長	563-0123	大阪府豊能郡能勢町下田尻227-120
奈良	岡田光裕	支部長	636-0082	奈良県北葛城郡河合町薬井187
和歌山	速水茂久	支部長	649-6222	和歌山県岩出市岡田257-7
鳥取	福山洋	支部長	680-0945	鳥取県鳥取市湖山町南3-163-5
島根	高木耐正	支部長	695-0011	島根県江津市江津町545-4
広島	川口清宣	支部長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
徳島	島田夏彦	支部長	770-8074	徳島県徳島市八万町下福万128-15
香川	藤川隆	支部長	763-0052	香川県丸亀市津森町687-5
愛媛	藤堂芳文	支部長	791-8067	愛媛県松山市古三津3丁目21-22 プレミノール古三津B棟202
福岡	植松佳春	支部長	813-0011	福岡県北九州市八幡東区祝町1-18-20
長崎・佐賀	石本必勝	支部長	851-0121	長崎県長崎市宿町498
大分	麻生昌寿	支部長	870-1107	大分県大分市敷戸駅北町6-10
鹿児島	森山文仁	支部長	890-0007	鹿児島県鹿児島市伊敷台6-19-10
沖縄	田場上	支部長	901-2203	沖縄県宜野湾市野高2-10-7-2

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
4/3	オンライン	第72回 日本理学療法学会 第9回準備委員会(学会役員)
3	東日本銀行大崎支店	定期預金解約(平野)
5	協会事務所	JCBデータ確認作業(平野)
7	協会事務所	地方会・支部への交付金送金作業(三浦)
8	東日本銀行大崎支店	地方会・支部への交付金送金先訂正作業(平野)
14	日本教育会館	第72回 日本理学療法学会 第10回準備委員会(学会役員)
16	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
17	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦)
23	赤坂御苑	春の園遊会(平野)
24	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦・三浦)
25	衆議院・参議院議員会館	第72回 日本理学療法学会への祝電、メッセージ依頼(平野・青柳)
28	協会事務所	令和5年度 監査会(中川・大内田・平野・小川・三浦・杉浦)
28	平塚市民活動センター	令和6年度 神奈川県支部 課題講習会講師の派遣(青柳)
5/2	オンライン	令和6年度 臨時理事会(理事会構成員)
3	協会事務所	第65回 定時代議員総会討議資料発送作業(平野)
8	オンライン	第72回 日本理学療法学会 第11回準備委員会(学会役員)
14	東京高輪病院	大内田監事お見舞い(平野・杉浦)
14	協会事務所	第72回 日本理学療法学会打ち合わせ(杉浦・青柳・石田)
15	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦)
17	協会事務所	第72回 日本理学療法学会打ち合わせ(杉浦・青柳)
17	協会事務所(オンライン)	令和6年度 第1回あはき等法推進協議会(平野)
18	日本教育会館	第65回 定時代議員総会(理事会構成員)
19	日本教育会館	第72回 日本理学療法学会(学会役員)
21	協会事務所	第72回 日本理学療法学会残務整理(青柳)
24	桜井司法書士事務所	法人登記(平野)
25	協会事務所	第72回 日本理学療法学会残務整理(青柳)
29	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
30	日本武道館	国民の命と生活を守る武道館1万人大会(平野・杉浦)
6/2	オンライン	令和6年度 第1回地方会代表者会議(理事会構成員・地方会代表者)
2	オンライン	令和6年度 第1回理事会(理事会構成員)
11	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
12	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦)
12	オンライン	東洋療法将来研究会協議会(平野・小川)
14	協会事務所	会員管理・会員名簿の確認作業(平野・丹羽)
19	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
19	東洋療法研修試験財団	令和6年度 定期評議員会(平野)
19	オンライン	第72回 日本理学療法学会 第12回準備委員会・解散式(学会役員)
20	協会事務所(オンライン)	あはき等法推進協議会 あはき第一条検討会(平野・青柳)
23	杉山記念館(墨田区)	杉山検校遺徳顕彰会 令和6年度定期評議員会(平野)
26	オンライン	協会の将来を考える懇談会(理事会構成員)
7/2	協会事務所(オンライン)	令和6年度 第2回あはき等法推進協議会(平野・青柳)
7	新潟市総合福祉会館	令和6年度 新潟県支部課題講習会講師派遣(青柳)
9	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
13	伊勢原シティープラザ	令和6年度 技能講習会開講式(平野・杉浦)
14	大阪天満橋府立労働センター	組織拡大講習会・組織局担当(小川)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
4/1	1	役員・代議員 各位	第65回 定時代議員総会開催通知
1	技能認定	京都支部	技能認定登録更新1名
3	技能認定	大阪府支部	技能認定登録更新1名
5	2	執行委員長・支部長 各位	令和6年度 交付金について
5	技能認定	埼玉県支部	技能認定登録更新1名
5	技能認定	鹿児島県支部	技能認定登録更新1名
5	会費請求書	和歌山県支部	令和6年度 会費請求書
9	3	監査会構成員 各位	令和5年度 年度末監査のお願い
10	4	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
10	5	支部長 各位	令和5年度 技能認定登録制度に係る「単為取得講習会等開催報告書」の提出について
10	6	執行委員長 各位	地方会担当者届の提出のお願い
10	7	支部長 各位	支部担当者届けの提出のお願い
10	会費請求書	北海道支部	令和6年度 会費請求書
10	会費請求書	愛媛県支部	同上
11	事務連絡	愛媛県立松山盲学校 進路指導係	入会案内
13	8	理事会構成員 各位	臨時理事会開催のお知らせ
13	技能認定	茨城県支部	技能認定登録更新1名
16	返信用封筒	函館恵山病院 経理課	支出調書・請求書兼領収書
18	事務連絡	会員 各位	機能訓練指導員における業務上の法令遵守について(注意喚起)
18	9	支部長 各位	令和6年度 会員名簿確認のお願い
20	会費領収書	兵庫県支部	令和6年度 会費領収書
20	10	執行委員長 各位	地方会執行委員長への理療定期送付の変更について
24	事務連絡	茨城県支部	履歴事項全部証明書
24	事務連絡	香川県支部	支部所在地証明に係る書類
24	11	監査会構成員 各位	令和5年度 計算書類の送付について
25	12	国会議員・他	第72回 日本理学療法学会への祝電・メッセージのお願い
27	会費領収書	栃木・福島支部 12名	令和6年度 会費領収書
28	13	理事会構成員 各位	令和5年度 計算書類と監査報告書
28	事務連絡	日本医薬情報センター	第72回 日本理学療法学会プログラム・抄録集
28	14	日本医師会長 松本吉郎	第72回 日本理学療法学会への祝電拝受について
5/3	15	代議員 各位	第65回 定時代議員総会の討議資料の送付
3	16	理事会構成員 各位	第65回 定時代議員総会の出席旅費・清算について
3	17	役員改選管理委員・代議員 各位	同上
9	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書
9	領収書	京都・滋賀県支部	技能認定登録更新手数料領収書
11	会費領収書	東京都支部	令和6年度 会費領収書
15	会費領収書	18支部	令和6年度 会費領収書
16	認定登録	愛知県支部	技能認定登録1名
20	認定登録	宮城県支部	技能認定登録更新1名
20	18	理事会構成員 各位	令和6年度 第1回理事会の開催
21	事務連絡	小根澤孝文	理療208号

21	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書
22	会費領収書	千葉県支部	令和6年度 会費領収書
22	会費領収書	岐阜県支部	令和6年度 会費領収書2名
22	会費領収書	福島県支部	令和6年度 会費領収書
23	会費領収書	大阪府支部	令和6年度 会費領収書3名
24	会費領収書	愛媛県支部	令和6年度 会費領収書
25	19	執行委員長・支部長 各位	第47回 理学療法指導者講習会の受講者の推薦について
25	20	理事会構成員 各位	令和6年度 役員分掌及び情報収集等に係る役割分担表
27	会費領収書	山形県支部	令和6年度 会費領収書
28	会費領収書	茨城県支部	令和6年度 会費領収書(再発行)
30	21	厚生労働事務次官 大島一博	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会終了報告書・収支決算報告書
30	22	日本医師会・他6団体	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会終了報告書・収支決算報告書
31	会費領収書	岐阜県支部	令和6年度 会費領収書
6/1	23	山下クリニック院長 山下徳次郎	第47回 理学療法指導者講習会講師依頼について
1	会費領収書	岐阜県支部	令和6年度 会費領収書
3	事務連絡	柳澤貞男・倉石健二	委嘱状と役員名簿の送付について
5	技能認定	神奈川県支部	技能認定登録3名・更新1名
5	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書2名
6	登録更新	神奈川県支部	認定登録更新1名 認定登録3名
6	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書2名
10	24	本部及び地方役員 各位	令和6年度 役員名簿(附 支部長名簿)の送付
12	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書
13	会費領収書	大阪支部	令和6年度 会費領収書
13	25	地方会執行委員長・支部長 各位	令和6年度 第1四半期決算ファイル送付について
15	会費領収書	岐阜県支部	令和6年度 会費領収書
17	26	関東甲信越地方会技能講習会委員長	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会の開催承認
17	27	厚生労働事務次官 大島一博	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
17	28	日本医師会・他6団体	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
19	返信用封筒	帝国データバンク	COSMOS2企業概要実態調査
19	返信用封筒	東京商工リサーチ	TSR企業情報調査
20	29	執行委員長・支部長 各位	メール送受信における当該会員の实態調査について
20	事務連絡	トライアングル西千葉	第65回 定時代議員総会のデータ送付について
21	30	理事会構成員・執行委員長 各位	会費長期未納者に対する会員資格喪失(除籍)の実施について
23	事務連絡	茨城県支部会員	JCB申込書
26	会費領収書	愛知県支部会員2名	令和6年度 会費領収書
7/1	会費領収書	大阪府支部会員	令和6年度 会費領収書

令和6年度 協会ホームページ更新履歴

月日	種別	ホームページ掲載内容
4月2日	更新	年間事業計画
4月6日	追加	広報249号
4月6日	新着	広報249号の誤植について（訂正）
4月7日	更新	各支部リンク・その他（厚生労働省 令和6年度改定について）
4月7日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（中部地方会 / 新潟県支部）
4月10日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（愛媛県支部）
4月19日	新着	業務上の法令遵守について（注意喚起）
5月18日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（鹿児島県 / 茨城県支部）
5月20日	新着	【令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会】のご案内
5月20日	更新	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会 開催情報
5月25日	新着	【令和6年度 第47回 理学療法指導者講習会】のご案内
5月25日	更新	理学療法指導者講習会のご案内
5月27日	追加	理療第208号 近刊案内
5月28日	更新	役員名簿
5月30日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（埼玉県 / 広島県支部）
5月30日	新着	第72回 日本理学療法学会 終了について（ご報告とお礼）
6月11日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（栃木県 / 新潟県支部）
6月14日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（神奈川県支部）
6月15日	更新	技能認定登録者名簿
6月16日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（近畿地方会）
6月20日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（岩手・秋田県 / 愛知・三重県支部）
6月24日	追加	地方学会・課題講習会のご案内（神奈川県支部）

課題講習会参加費用(受講料)の値上げについて

令和6年6月2日

学術局

【提案理由】

会員が減少する中、学術団体である本協会の課題講習会を安定かつ継続して実施することを目的に、参加費用(受講料)を改定することとする。

【規定の変更】

講習会等開催要項 参加費用 1の変更
技能認定登録制度規程 2-(7)の変更

【参加費用】

	現 行	変更後
会 員	2,000円	3,000円
会員外	4,000円以内	5,000円以上 ~ 6,000円以内

【運用開始年月日】

令和6年10月1日からとする。

以上

第73回 日本理学療法学会 開催案内

- テーマ : 「医療・介護の原点から かがやく未来をみすえて」
～我々が取り組める技術とは～
- 会 期 : 令和7年5月16日(金) 第66回 定時代議員総会
令和7年5月17日(土)・18日(日) 第73回 日本理学療法学会
- 会 場 : 神戸商工会議所 3階 神商ホール・会議室
- 所 在 地 : 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1
- 開催形式 : 会場参加・オンデマンド視聴(8月予定)
- 参加費 : 会 員 会場参加(事前登録) 6,000円・(当日) 8,000円
会員外 15,000円 ※会場参加の全員、後日のオンデマンドも視聴可
会 員 オンデマンドのみ参加 10,000円・学 生 3,000円
市民公開講座(無料)
- 申込期間 : 令和7年4月1日(火)～4月30日(水) まで(予定)
(学会参加登録はオンデマンドのみの方も同じ期間です。)

学会内容 : <特別講演>

(I) テーマ 「脊椎疾患の臨床症状」

講 師 神戸大学医学部整形外科 特命准教授 ^{かくたに} 角谷 ^{けんいちろう} 賢一郎 先生

(II) テーマ 「骨粗鬆症の薬物療法 - 各薬剤の特徴と注意点 -」

講 師 神戸薬科大学エクステンションセンター 講師 ^{かまお} 鎌尾 まや 先生

(III) テーマ 「難治骨折診療から学んだ骨折治療の極意」

講 師 神戸大学医学部整形外科 助教 ^{おおえ} 大江 ^{けいすけ} 啓介 先生

<市民公開講座>

テーマ 「認知症の真の共生と予防を目指して」

講 師 神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻 教授 ^{こわ} 古和 ^{ひさとも} 久朋 先生

<会員発表> 30題(予定)

技能認定登録制度 : 取得単位 学会参加: 10単位・演題発表: 5単位

主 催 : 公益社団法人 全国病院理学療法協会

担 当 : 近畿地方会

学 会 長 町井 修治 小林診療所

準備委員長 吉岡 豊英 太田外科診療所

事務局 長 上田 亮 アップデイサービス瑞ヶ丘

<学会事務局> 〒664-0852 兵庫県伊丹市南本町4丁目2-10

医療法人 社団いずみ会 太田外科診療所 物療室

吉岡 豊英(準備委員長)

TEL 072-772-1398 FAX 072-784-1884

E-mail : gakkai.kinki.zenbyouri@outlook.jp

令和6年7月吉日

会 員 各 位

第73回 日本理学療法学会
学 会 長 町 井 修 治
準備委員長 吉 岡 豊 英
演題管理担当 上 田 亮
(公印省略)

第73回 日本理学療法学会における 演題募集のお願い

盛夏の候、会員各位には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第73回日本理学療法学会を、近畿地方会担当にて令和7年5月17日(土)、18日(日)に兵庫県、みなと街神戸のポートアイランド「神戸商工会議所神商ホール」にて開催する運びとなりました。

つきましては、会員諸氏に日頃の貴重な臨床・研究の成果を発表頂き、会員相互の知識・技術の向上を図り、実りのある学会に致したいと考えております。

なお、演題募集並びに申し込みにつきましては、下記募集要項に従いお願い申し上げます。

【 演 題 募 集 要 項 】

1. 発 表 演 題 自由演題（未発表のもの）7分以内
2. 発 表 形 式 論文発表及びスライド（パワーポイント）10コマ程度
3. 抄録原稿規定 投稿ファイル形式はWord横書き、書体はMS明朝、本文800字以内(A4版1頁程度)、フォントサイズ(タイトル16P、本文12P、数字は半角英数字)
4. パワーポイント Office 2019まで使用可能
5. 原稿等提出方法 演題申込書、抄録原稿、発表論文、パワーポイントは、期日までに下記の演題管理担当者へE-mailにてご提出ください。
* (演題申込書のみ郵送も可とします)
8. 提 出 期 限 ・演題申込 令和6年11月30日(土)
・抄録原稿 令和6年12月21日(土)
・発表論文・パワーポイント 令和7年4月15日(火)
7. 提 出 先 学会事務局 E-mail: gakkai.kinki.zenbyouri@outlook.jp
演題管理: 事務局長 上田 亮

【郵送先】〒664-0852 兵庫県伊丹市南本町4丁目2-10

医療法人 社団いずみ会 太田外科診療所物療室 吉岡 豊英

※演題発表に関するお問い合わせは、業務の都合上メールでの対応とさせていただきます。

ご了承ください。演題申込書は、協会ホームページからダウンロードできます。

第73回 日本理学療法学会

演題申込書

令和 年 月 日提出

※発表者氏名・施設名には必ず「フリガナ」をご記入ください。

演題名		
支部名	支部	共同発表者氏名
発表者氏名	フリガナ	
勤務先施設名	フリガナ	
	(所属)	
連絡先	勤務先 ・ 自宅	パワーポイント：有 ・ 無
連絡先住所	〒	
	TEL ()	
	メールアドレス :	
連絡事項		

※以下 事務局記入欄

受付番号	
受付日	令和 年 月 日 受付者:
演題番号	
発表日時	

【演題申込書送信先】 : 学会事務局 E mail : gakkai.kinki.zenbyouri@outlook.jp
演題管理：事務局長 上田 亮 宛て

【郵送先】 : 〒664-0852 兵庫県伊丹市南本町4丁目2-10
太田外科診療所 物療室 吉岡 豊英 宛て

第61回 東北理学療法学会のご案内

テーマ 『腰椎・骨盤からみた医師とセラピストの役割』
日時 令和6年9月21日(土) 東北地方会執行委員会・懇親会
令和6年9月22日(日) 第61回 東北理学療法学会
第62回 東北理学療法大会
会場 グランパークホテルエクセル福島恵比寿(執行委員会・懇親会)
福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ大活動室2(学会)
〒960-8051 福島県福島市曾根田町1-18 MAX ふくしま4階
TEL: 024-533-2344
主催 公益社団法人 全国病院理学療法協会
担当 東北地方会 福島県支部
内容 特別講演1題 ・ 市民公開講座1題
会員発表 数題予定
学会 参加費 4,000円(会員) ・ 会員外5,000円
懇親会 参加費 8,000円
申し込み 令和6年7月31日(水) 締め切り(期限厳守)
申し込みおよび連絡先 学会事務局: 〒961-0971 福島県白河市昭和町5
大高整形外科 リハビリテーション科 八木 勝彦
TEL 0248-23-9988

第47回 理学療法指導者講習会 開催案内

日時 令和6年10月19日(土) 13:00～17:00 開講式・座学
令和6年10月20日(日) 9:00～13:00 実技・終講式
会場 大分コンパルホール 4階「400会議室」
JR大分駅北口(府内中央口)下車 徒歩5分
〒870-0021 大分市府内町1-5-38 TEL 097-538-3700
テーマ 「筋痛疾患における筋膜性疼痛の位置づけ・筋膜病変の形成と
発症のメカニズム・筋膜病変の見つけ方とその治療」
講師 山下クリニック院長 麻酔標榜医 ^{やました}山下 ^{とくじろう}徳次郎 先生
講義形式 対面式
受講者数 35名(支部長推薦者に限る)・取得単位数 5単位
申込期限 令和6年8月31日(厳守)
旅費 協会が負担しますが、公共交通機関及び宿泊ホテルは各自で
手配してください。

令和6年度 支部・地方会学術活動開催予定一覧

*受講希望者は開催担当の地方会・支部へお問い合わせをお願いします (令和6年7月1日現在 広報局)

日付	研修内容	方式	担当者・問い合わせ先
8/4 (日)	タイトル:中国地方会・広島県支部合同研修会	対面式	担当:中国地方会・広島県支部
	テーマ:頸・肩・上肢の慢性疼痛に対する筋膜リリース		携帯:090-2009-2781
	会場:広島市東区民文化センター 3階大会議室		連絡先メールアドレス:Nckfc250@yahoo.co.jp
8/18 (日)	タイトル:愛知、三重県支部研修会	対面式	担当:中部地方会 愛知・三重県支部 支部長 鈴木 茂
	テーマ:「膝関節の機能障害とリハビリ」		携帯:080-5134-2687
	会場:一宮スポーツ文化センター		連絡先メールアドレス:g1520483@gmail.com
9/1 (日)	タイトル:第3回 支部講習会	対面式	担当:関東甲信越 地方会 神奈川県支部 ※講習会は直前で変更が生じる場合があります 必ず支部HP確認をした上で、参加をお願いします
	テーマ:「学会発表の進め方～症例報告に挑戦しよう!」		携帯:090-4016-9316 梅田
	会場:伊勢原中央公民館		連絡先メールアドレス:ysakai130@ezweb.ne.jp 酒井
9/22 (日)	タイトル:第2回 研修会 時間:13:30～15:00	対面式	担当:千葉県支部 学術部 学術部長 井下田 康浩
	テーマ:「インソール」		携帯:090-2406-0175(イゲタ)
	会場:千葉市文化センター 9F会議室		連絡先メールアドレス:ショートメール 可能
	タイトル:第3回 研修会 時間:15:15～16:45	対面式	担当:千葉県支部 学術部 学術部長 井下田 康浩
	テーマ:「スポーツ領域における物理療法」		携帯:090-2406-0175(イゲタ)
	会場:千葉市文化センター 9F会議室		連絡先メールアドレス:ショートメール 可能
10/20 (日)	タイトル:第4回 支部講習会	対面式	担当:関東甲信越 地方会 神奈川県支部 ※必ず支部HP確認をした上で、参加をお願いします
	テーマ:「脳卒中片麻痺患者に対する特殊テクニックについて」		携帯:090-4016-9316 梅田
	会場:伊勢原中央公民館		連絡先メールアドレス:ysakai130@ezweb.ne.jp 酒井
10/27 (日)	タイトル:第2回 北海道地方会理学療法研修会	対面式	担当:北海道 地方会 執行委員長 工藤 英範
	テーマ:①「膝OAの病態運動学に基づく評価と治療(保存療法を中心に)」 ②「コメディカルの画像評価の活用(下肢を中心に)」		携帯:090-2870-4922
	会場:札幌市産業振興センター		連絡先メールアドレス:Zyoukaku0112@gaea.ocn.ne.jp
11/17 (日)	タイトル:第3回 北海道地方会研修(Web研修会)	リモート式 (Zoom)	担当:北海道 地方会 執行委員長 工藤 英範
	テーマ:「認知症ケアの基本とコミュニケーション法」 ～パーソン・センタード・ケアとバリエーションのご紹介～		携帯:090-2870-4922
	(対面式の場合のみ記載):		連絡先メールアドレス:Zyoukaku0112@gaea.ocn.ne.jp
11/24 (日)	タイトル:石川県支部学術活動 時間10～15時	対面式	担当:北陸地方会 石川県支部 支部長 向井 由美子
	テーマ:未定		携帯:
	会場:木島病院 2階会議室		連絡先メールアドレス:olut5950@yahoo.co.jp
12/1 (日)	タイトル:第5回 支部講習会	対面式	担当:関東甲信越 地方会 神奈川県支部 ※必ず支部HP確認をした上での参加をお願いします
	テーマ:「新型コロナウイルス感染症等の感染症とその対策について」		携帯:090-4016-9316 梅田
	会場:伊勢原中央公民館		連絡先メールアドレス:ysakai130@ezweb.ne.jp 酒井
R7 2/2 (日)	タイトル:第6回 支部講習会 第47回 理学療法指導者講習会伝達講習	対面式	担当:関東甲信越 地方会 神奈川県支部 ※必ず支部HP確認をした上で、参加をお願いします
	テーマ:「筋痛疾患における筋膜性疼痛の位置づけ・筋膜病変の形成と発症のメカニズム・筋膜病変の見つけ方とその治療」		携帯:090-4016-9316 梅田
	会場:伊勢原中央公民館		連絡先メールアドレス:ysakai130@ezweb.ne.jp 酒井
2/9 (日)	タイトル:第47回 伝達講習会	対面式	担当:関東甲信越地方会 静岡県支部
	テーマ:筋痛疾患における筋膜疼痛の位置づけ、他		携帯:090-1728-7199
	会場:静岡県福祉会館(シズウエル)		連絡先メールアドレス:ookawara31@gmail.com

「広報 PDF 版」配信にかかわる実態調査報告

広報局長 小路口 憲

協会の事業遂行においては、経費節減を念頭に取り組んでおりますが、広報局では今秋の郵便料金引き上げに鑑み、現行の郵送から添付メールによる「広報 PDF 版」配信に変更することを計画しております。その準備として、会員のメール活用について各地方会の協力のもと調査を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

令和 6 年 6 月 30 日調査結果

地方会名	合計数	支 部 名	会員数	支 部 長	メール送受信可能者数		メール不可能者数	
北海道	37	北海道	37	工 藤 英 範	34	名	3	名
東北	56	青 森	4	川 浪 重 治	4	名	0	名
		岩手・秋田	16	菊 池 武 彦	11	名	1	名
		宮 城	11	菅 原 喜 弘	8	名	0	名
		山 形	5	寒 河 江 健一	3	名	2	名
		福 島	20	星 辰 雄	16	名	4	名
関東甲信越	388	茨 城	32	神 林 幸 生	23	名	9	名
		栃 木	17	引 橋 三 佐 夫	0	名	0	名
		埼 玉	96	横 川 安 則	0	名	0	名
		千 葉	46	井 上 聡	28	名	18	名
		東 京	85	杉 浦 幹 雄	40	名	45	名
		神 奈 川	67	梅 田 弘 之	33	名	34	名
		新 潟	11	藤 原 文 男	6	名	5	名
		長 野	17	等々力 正和	13	名	4	名
北陸	33	静 岡	17	大 河 原 功	0	名	0	名
		富 山	11	林 茂 久	0	名	0	名
		石 川	16	向 井 由 美 子	0	名	0	名
中部	149	福 井	6	長 谷 川 義 勝	0	名	0	名
		岐 阜	40	栗 山 英	24	名	4	名
近畿	175	愛 知・三 重	109	鈴 木 茂	35	名	3	名
		京 都・滋 賀	33	奥 村 栄 浩	0	名	0	名
		大 阪	106	田 中 保 行	0	名	0	名
		兵 庫	16	吉 岡 豊 英	0	名	0	名
		奈 良	8	岡 田 光 裕	8	名	0	名
中国	28	和 歌 山	12	速 水 茂 久	11	名	1	名
		鳥 取	1	福 山 洋	1	名	0	名
		鳥 根	1	高 木 耐 正	0	名	1	名
四国	36	広 島	26	川 口 清 宣	3	名	7	名
		徳 島	4	島 田 夏 彦	0	名	0	名
		香 川	9	藤 川 隆	0	名	0	名
九州	44	愛 媛	23	藤 堂 芳 文	0	名	0	名
		福 岡	3	植 松 佳 春	0	名	0	名
		長 崎・佐 賀	3	石 本 必 勝	0	名	0	名
		大 分	6	麻 生 昌 寿	0	名	0	名
		鹿 児 島	31	森 山 文 仁	7	名	24	名
		沖 縄	1	田 場 上	0	名	0	名
会 員 数 合 計			946	合 計	308	名	165	名

*広島県支部合計数は、岡山県1名を含む。

*合計数は会員、会友会員、休会会員、名誉会員を含む。

令和6年度

「認定訪問マッサージ師」「認定機能訓練指導員」講習会のご案内

I 基礎講義

日 程 令和6年11月23日(土)・24日(日)

講義内容 ①高齢者の医療と倫理 ②高齢者の心理
③介護予防・体力測定法 ④高齢者の合併症とリスク管理
⑤療養費の扱いと同意書 ⑥初期評価・報告書・施術録の書き方
⑦介護保険制度における機能訓練指導員の役割
～アセスメントと実施計画書の書き方～

II 実技講義

日 程 令和7年2月1日(土)・2日(日)

講義内容 ①関節可動域検査 ②筋力検査
③日常生活動作検査 ④機能回復訓練・高齢者の体力測定

III 会 場

東京医療福祉専門学校

IV お問い合わせ先

株式会社純誠会内「東洋療法将来研究会」

認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員事務局

担当：高木 智

〒341-0018 埼玉県三郷市早稲田2-17-16

TEL 048-950-2773 月曜日～金曜日 9：00～12：00 13：00～16：00

FAX 048-950-2774

mail：nintei-m@outlook.jp

URL：http://www.junseikai.com

V 構成団体

(一社) 日本東洋医学物理療法学会

(公社) 全日本鍼灸マッサージ師会

(公社) 全国病院理学療法協会

(社福) 日本視覚障害者団体連合

(公社) 日本あん摩マッサージ指圧師会

(公社) 東洋療法学校協会

日本理療科教員連盟

※注意 上記構成団体では、受講申し込みの受付は一切致しておりませんので予め承知願います。

令和6年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表

(令和6年7月1日現在)

	代議員総会 理事会・監査会等	広報・理療発行	学会・記念式典等
令和6年 4月	令和5年度 監査 28日(日)		
5月	第65回 定時代議員 総会18日(土)	理療208号	第72回 日本理学療法学会 19日(日) 東京都 日本教育会館
6月	第1回 理事会 地方会代表者会議 2日(日)		
7月		広報250号	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会 開講式 神奈川県支部 13日(土)・伊勢原市
8月		(理療休刊)	
9月			第61回 東北理学療法学会 22日(日) 第62回 東北理学療法大会 22日(日) 福島市アクティブシニアセンター
10月			第47回 理学療法指導者講習会19日(土)・20日(日) 大分コンパルホール4階「400会議室」
11月	第2回 理事会 地方会代表者会議 10日(日)	理療209号	
12月		広報251号	
令和7年 1月			令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会 修講式 神奈川県支部 12日(日)・伊勢原市
2月		理療210号	第31回 運動療法機能訓練技能講習会 技能認定試験 9日(日)・伊勢原市
3月	第3回 理事会 2日(日)	広報252号	

- ※ 令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会は、神奈川県支部で開催
- ※ 葵税理士法人との財務処理を適宜開催
- ※ あはき等法推進協議会・東洋療法研修試験財団関連の会議は不定期に開催

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

e-mail yakuaa@mars.plala.or.jp

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲

ken218@lapis.plala.or.jp